

漢方
小児科 婦人科
内科 産科
浮田医院
だより



第 32 号
発行所： 浮田 徹也 漢方 浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
(パソコン) <http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>
(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>
e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp
発行日：平成14年1月5日(土)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(32)

更年期障害 I



二十一世紀も二年目を迎え、ますます物事の裏の部分(汚い部分)が明るみに出る時代に入りそうです。当院に通院中の皆様方、医師、看護婦、受付に遠慮なく、お聞き下さい。私たちは、皆様方の不安、心配、不満などを減らしたり、なくしたりすることを使命と考えています。分からないことをそのままにしてお帰りにならない下さい。携帯電話のホームページやパソコンのホームページから、たくさんのメールが毎日送られて来ます。その日に返信するよう心掛けていますが、一〜二日後になることもありご迷惑をおかけしています。質問が、看護婦、助産婦、受付への場合、その担当のものがお答えします。今月は、更年期障害についてお話します。女性ホルモンが十分に出ている年代(熟年)からでなくなる年代(老年)への時

期を更年期と言います。老年期に適応しやすい方は、更年期障害を経験しなくて済みます。体や心の調和がとれていない方、家庭、職場、対人関係、環境(住居)などに問題のある方は、動悸、のぼせ、発汗、不眠、不安、情緒の乱れなどの症状が出やすくなります。特に、エネルギーを蓄える「腎」、情緒を調節する「肝」、消化と吸収の働きのある「脾」、血液循環と思考を調節する「心」の力の弱い方は、ストレス、困難(逆境)に出くわした時、心や体に強い影響が出やすくなります。漢方薬は、腎、肝、脾、心などの弱点を補強し心や体に大きな乱れが起きないようにします。女性ホルモンが急激に低下する場合、ホ



南天

ルモンを補充した方が、症状を早くなくせることもあります。当院では、その方の体や心の状態を診察し、漢方薬を中心に、時にホルモン剤を使用しています。では、実例を挙げましょう。五三歳女性、動機、息切れ、発汗、めまい、全身倦怠感を訴え来院。子供やご主人に対する不満を心の内に秘めておられました。顔は青黒く、眼窩はむくみ、両頬は赤く、唇はカサカサ、お腹は柔らかく、右の肋骨下部に抵抗を認め、脈は細く、沈んでいました。舌は乾き薄黒く、舌の先に赤い点が多数見られました。そこで、柴胡桂枝乾姜湯と苓桂朮甘湯と言う漢方薬を処方しました。二週間後、にこやか





な表情で来られました。三ヶ月後、症状はなくなりましたが、お腹、舌、脈の所見は変わりませんでした。一年半後、色々な所見が改善し、廃薬しました。

四五歳女性、冷えのぼせ、動悸、発汗、生理前のイライラや胸の張り、疲労感などを訴え来院。顔は薄黒く、カサカサで、両ほほは赤く、お腹は軟く、右肋骨下と臍の左下に抵抗、臍の左と上に動悸、脈は細くピンと張り、舌は暗紫色、乾薄黄苔が見られました。そこで、加味逍遙散と四物湯を処方しました。

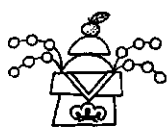
三ヶ月後、ほぼ症状がなくなり、二年後廃薬しました。

四一歳女性、一〇年前よりリウマチの治療を継続中ですが、手、肘、膝の痛み、腫れ、変形が進んでいます。顔は赤黒く、お腹は硬く、お臍の左右に強い抵抗を認め、脈は力強く、舌は鮮紅色、乾黄苔、舌の裏に太い血管がみられました。そこで、桂芍知母湯と黄連解毒湯、通導散と桂枝茯苓丸を交互に飲んでもらいました。二ヶ月後、よくなり始め、六ヶ月後、変形は残りましたがほぼ症状が消え、四年後の現在も継続しています。

六六歳女性、寝つきが悪く、睡眠中に何回も目覚め、憂鬱で体がだるい。顔は赤く、お臍の左右と右の肋骨下に強い抵抗を認め、脈は弦、舌は紫紅色、乾黄苔、舌の裏に太い血管がみられました。柴胡加竜骨牡蠣湯と桂枝茯苓丸と黄連解毒湯を二週間飲むと、かなり改善し、一年で廃薬しました。

十七歳女性、一年前にダイエットをしてから生理がなくなり、肌、唇がカサカサしてきました。顔は少し赤く、お腹は硬く、腹直筋が緊張し、脈は細く、舌は淡紅色、乾白苔がみられました。芍婦調血飲第一加減を三ヶ月飲むと、生理が始まり、一年後には規則正しく来るようになりました。

今回は、アレルギー性鼻炎についてお話しします。今年も多くの方にお会いして、助けたり、助けられたりして、あわてず、あせらず、ゆったりと生きていきたいものです。



院長



リウマチ

風、寒、湿、痺などの環境、疲れ、ストレス、不眠も強く係っています。胃腸、筋肉、骨・・・の弱りを調整し、寒さ、湿気、ストレスなどに負けない体作りをお手伝いします。難しい病気ですが、漢方薬を根気よく続けて下さい。



不眠

寝付きの悪い方、途中で目の開く方、疲れているのに眠れない方、目が冴えて眠れない方・・・、胃腸の弱い方、血圧の高い方、冷え症の方、痒くて眠れない方・・・、それぞれ、漢方薬が違います。胃腸の弱い方、血圧の高い方、不安感が強い方、高齢で朝早く目覚める方、赤ちゃんの夜泣・・・によっても漢方薬が異なります。



無月経

心、体、食物、生活環境、季節・・・などの影響を受けやすい方に起こりやすいようです。ですから、心、体・・・などの乱れを調整することが大切です。原因を十分に調べ、治療することが必要です。



当院の漢方治療



剤型について

- ・ エキス漢方薬：錠型タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・ 漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～50分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿る場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が湿りやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症について

すべての疾患に適応できます。便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、排尿障害、発熱、・・・などすべての症状に応用します。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、肩こり、腰痛、便秘、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え症、低血圧、過敏性大腸、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、頭痛、下痢、風邪、肥満、夏ばて、動悸、慢性膀胱炎、血尿、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃炎、口内炎、口腔乾燥、痛風、夏まけ、慢性胃炎、慢性膵臓炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、前立腺肥大、クーラー病、虚弱児、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、带状疱疹後神経痛、神経痛、膝関節症、下肢静脈瘤、上下肢浮腫、不妊症、切迫流産・早産、妊娠中毒症、産後回復不良、乳腺炎、乳汁分泌不良、乳腺症・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、アレルギー性鼻炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、高脂血症、高コレステロール血症、不眠症、自律神経失調症、うつ病、夜尿症、慢性関節リウマチ、脳梗塞後遺症、脳出血後後遺症、抗がん剤使用後倦怠感、抗がん剤使用時副作用・・・・・・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬について

- ・ 軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせて治療。
- ・ 重症の病気、エキス漢方薬が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、子供の方、ご相談下さい(高齢の方もどうぞ)。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診断法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、心電図、骨量測定・・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

錠剤漢方薬

錠剤タイプの漢方薬も多数そろっています。お気軽にお申し出下さい。

スーパーライザー (神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、腰痛、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫(ねんざ)・・・などの治療に利用しています。

皮内針

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に利用します。

外用薬・点眼薬・点鼻薬

外用薬(漢方薬、アトピー、痒[かゆ]み、非ステロイド、ステロイド、抗生物質、抗真菌、保湿、にきび)、点眼薬(抗菌剤、抗生物質、抗アレルギー剤)、点鼻薬(抗アレルギー剤)、喘息吸入薬、口腔用(口内炎、抗真菌、うがい)、湿布薬(冷、温)、痔(軟膏、座薬)・・・。

漢方入浴剤

美芳湯[びほうとう]: 冷え症、湿疹、あせも、にきび
昇竜湯[しょうりゅうとう]: 神経痛、腰痛、肩凝り、疲労回復
アトピーの方【漢方入浴剤】お作りします。

処置診

処置、検査、点滴、針、スーパーライザーをご希望の方、受診者名簿の処置の欄に、氏名を書き、診察券を入れてください。

骨量測定

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

低用量ピル

従来のピルよりも副作用が減っていますが、きちんと服用して頂くため、問診表を作成しています。

保険証変更の方

保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。保険が使えなくなります。保険証は、毎月確認しますから、ご提出下さい。

駐車場

- ・ 北一駐車場(40台)(日曜、祝祭日:終日閉鎖)
月・水・金:午前8:30～夕方診の終了
火・木・土:午前8:30～午前診の終了
- ・ 東・南駐車場(11台)(終日駐車可能)

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午 (月～土)	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	-
午後5:30～午後7:30 (月、水、金)	○	-	○	-	○	-	-

- ◆漢方外来(月～土)：内科・小児科・皮膚科・産婦人科・整形外科・耳鼻科・眼科・・・など全科
- ◆更年期外来(月・夕方)：更年期の方・思春期の方(女性・男性、どなたでもお越しください)
- ◆不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
- ◆妊婦外来(火、金)：妊婦健診・妊娠中の方(火)午前11:00～正午は産後健診、赤ちゃん健診
- ◆助産婦相談(第2、3金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談 午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期 - 母親教室

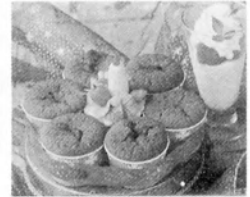
日時：2月19日、3月5日、4月16日(火)
 対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)
 場所：当院1階 申込み方法：申込ノートでご予約して下さい。
 皆様方のご希望に答えて、後期妊婦教室の回数は、できるだけ月2回に致します。ティータイムもご期待下さい。

後期 - 母親教室

日時：1月8日、1月22日、2月12日、26日、3月12日、4月9日、23日(火)
 対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)
 お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

フォンダンショコラ2002と言う可愛いケーキで、小さなカップにチョコケーキとガナッシュが入っています。ロイヤルミルクティーブレド(紅茶のゼリー付)は、ミニパウンド型で焼き、紅葉はアールグレイを使用しました。新しい年にふさわしく仕上がりました。



つ わ り

妊娠すると、赤ちゃんがお腹で育ちやすいように、お母さんの体も変化していきます。その急激な変化に体がついて行けないと、つわりが出ます。時に、肝臓や脾臓に問題が生じ、治療が必要になります。尿の量が減るようなら、点滴を受けてください。症状が軽い場合、漢方薬も効果があります。



分娩予約

当院で分娩を予定されておられる方、出来るだけ早く、受付で予約してください。ご予約には、分娩予約カードと予約金5万円が必要です。予約された方には、母と子のてびきをお渡します。

立合い分娩

あらかじめ、受付にお申し込み下さい。

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて、ウッキー! Dr. ウッキーの悩み相談、婦人科、産科、漢方、友達に教える、外来診療のご案内などを掲載 (i-mode 対応)。

パソコンホームページ (<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

漢方のページ、産婦人科のページ、当院の案内、当院への交通、周辺の観光地など掲載。ホームページの内容は、待合でも閲覧できます。

助産婦相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。お一人およそ、15～20分に対応します(無料)。
 日時：第2、3金曜日 午前8:40～午後12:30。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
 日時：毎週火曜日 午前11:00～正午(有料)。

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

第14回妊婦のための料理教室

日付：4月11日(木) 時間：午前10時～午後2時。
 対象：妊婦の方(無料) 献立：フランス料理。